

ごはんお米とわたし

五年 富田 陸斗

ぼくは、食べる事が苦手です。

たくさん動けばおなかは空くけれども、特に食べる事に興味がありません。

でも、ぼくはごはんをたくさん食べなければなりません。

なぜならば、ぼくのゆめは「サッカー選手になることだからです。ぼくのゆめを實現させるためには、まず、せを大きくしないと

けません。ぼくは、四年生の一月に鹿島アントラーズつくばのセレクションを受けました。セレクションの時は、ドリブルもパス回しも上手に出来ました。そして、鹿島アントラーズのチームの人達とのチームワークも良かったと思います。何点もゴールを決めて、受かる自信もありました。でも、ぼくは、セレクションに落ちてしまいました。とてもくやしくて、くやしくて、泣きくずれてしまいました。どんなに泣いていても落ちた理由が分かり

らなければ、前には進めないと思っただので、
 勇気を出して落ちた理由を直接コーチに聞いて
 みました。

「せが低いから、セレクションに落ちてしま
 ったのだよ。これからモット、モット、ごは
 んをたくさん食べて大きくならないと」
 コーチから、ごはんは体を大きくしてくれる
 事を教えてもらいました。

ぼくは、「ハッ」と思いました。どんなに
 練習をして走って動いても、どんなにゴール

を決めても、ごはんをたくさん食べて体を大
 きくしななければ、競り合った時、小さい選手
 はふき飛ばされてしまうし、空中のボールを
 取る事も出来ません。そして、体が大きいこ
 とで、相手に「強いかもしれない」というイ
 メージを付けさせる事も出来ます。せが低く
 て体が小さいという事は、サッカー選手の
 ゆめをかなえる事が出来ない事を実感しまし
 た。

小さいころから、イヤイヤごはんを食べて

いた事を思い出し、「もっ」とごはんをたくさん食べていれば良かったなあ」と後かいました。お父さんやお母さん、コーチや色々な人達が、ぼくに、

「たくさんごはんを食べて、たくさんねて、大きくなっ てね。」

といつもぼくのゆめに少しでも近づけるようにみんながアドバイスをしてくれたのだと気づきました。

今のぼくの目標は、九月までに体重を五キログラムふやすことです。

そのために、一回のごはんの量を最低でもお米一号半から二号食べる努力をしています。朝は起きたばかりなので特にツライです。暑い日も続いてごはんの食べる量が不安ですが、自分のゆめを実現できるようにこれからも、たくさんごはんを食べて、健康で大きな体を作りたと思います。